



# 社会人一年生

厚生連長岡中央総合病院 白野 侑子 (平成20年卒)



この度は卒業、国家試験合格おめでとうございませう。入学前は長いように感じましたが、6年間、過ぎてしまえばあっという間だったのではないかと思います。机にかじりついて勉強していた皆さん、4月からは新社会人として現場に放たれます。静脈ライン確保や薬の処方など、初めは訳の分からないうちに1ヶ月が過ぎてしまいうちです。

医療はサービス業とはいえ、一般企業の社会人とは違い先輩が社会人としてのマナーや常識を教えてはくれません。そもそも

も医者には社会常識の欠けた人が多く、そのうち専門バカと言われるようになってきてしまうように感じます。

今更私が臨床現場で感じた残念な医者像を挙げてみます。しわくちゃの白衣、ボサボサのひげや髪の毛、靴のかかとを踏んでいる、ケーシーのポケットに手を入れて歩く、青ケーシーに手術室の緑ズボンの変なコーデイネット、遅刻する、電話に出ない、年長者にも上から目線でタメ口、コメディカルスタッフに對する罵声、挨拶を自分からはしない、医局のデスクがゴミの山、話しかけにくいオーラなど。研修医は当直や緊急の呼び出しが重なるために数日帰れず、ひげや髪の毛がボサボサに

なっているのを時々見かけます。研修医とはいえ、国家資格を持ったプロであり患者にとっては医師には違いありません。ただ、上級医にはない強みは、物を言いやすい近い存在で上級医と患者の架け橋になれることです。雑談でもいい、話をよく聞いて一日最低2回は回診をする、触診・聴診、採血など直接患者に触れることです。基本的な事なのですがベテランになるにしたがって忙しくて忘れがちになるのです。

それから、言葉づかいは重要です。患者、スタッフは友達ではありません。小児患者以外には敬語と謙虚な姿勢で接して欲しいです。特に看護師は医師の言動を想像以上に良く見ています。素直で好感の持てる研修医には対応が全然違いますね。いつかどこかで皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

# 医師の仕事

新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 丹羽 佑輔 (平成26年卒)



卒業にあたって、医学部入学までの苦労や入学後の大変な試験の数々、部活の厳しい練習や大会等、様々な思い出を振り返っていることと思います。きっと充実した学生生活だったことでしょう。まずは無事にご卒業を迎えられ、大変わびりませう。

私は千葉大学を卒業し、縁あって新潟に来て佐渡で研修しました。現在は消化器内科に入局し、新潟大学病院に勤務しています。私は医師としてまだまだ未熟ではありますが、お祝いに代えて研修時代のエピソードをお話したいと思います。

研修医になったばかりの4月、受け持ち患者が突然心停止となりました。救命処置を行い自己心拍が再開したものの、その後心停止と蘇生を繰り返す

別のケースでは、終末期にも関わらず患者さんのご長男が心肺停止時に蘇生をご希望されました。よくお話を伺ってみると「父を見捨てることはできない」と感じたことが理由でした。そこで「いつか必ず訪れる人生の最後を、お父様にどのように迎えて欲しいですか」と問いかけると「苦しまずに逝ってほしい」と延命希望を取り下げました。しばらくのちに眠るように息を引き取られ、ご長男も満足されていた。

初期研修の2年間で、知識や技術によって患者さんの病状をよくできること、看取る重要さを実感したこと、また消化器内科の先生が完治を望めない患者さんを慮った言葉に感動したことなどから、消化器内科を志望

# ご卒業おめでとうございます

県立新発田病院 稲葉 聡 (平成28年卒)



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。そして卒業試験、国家試験お疲れ様でした。大学入試からはじまり数々の試験を乗り越えて、ついに一人の医師として現場に出ることが目前に迫り期待と不安でいっぱいかと思えます。医師になるということへの達成感もあることでしょう。この度は、僥倖ながら少し先輩としてメッセージを送らせていただきます。

二年間、私が研修医として働

# ご卒業おめでとうございます

新潟市民病院 曹 聖 鉉 (平成27年卒)

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございませう！

この記事が発行されている頃には国家試験も一段落し、卒業旅行や飲み会、新天地への引越など忙しゅう日々を送っていることと思います。

そんな日々が終わると、4月からは研修医としての社会人生活が始まります。初期研修はたった2年間ですのでポイントとしてお伝えさせていただきます。

① 社会的な疾患の「初期対応」を学ぶ

敬語を使う等々：ある意味医学云々よりも一番大事な要素かもしれない。ポリクリ等でこういったマナーは既に学ばれていると思われませんが、今一度確認してみたいです。

② 一般的な疾患の「初期対応」を学ぶ

各科の上級医の先生に気軽に聞ける初期研修医の期間というのは本当に貴重だと、3年目になってつくづく思います。3年目以降は一人で当直をしなければならぬ病院も多く、初期研修の期間に出来るだけ多くの疾患の診断方法や初期対応の検査方法（一人でグラム染色や超音波検査できますか？）を学び、分らないところはドンドン上級医の先生に聞き倒しまし

生に大きく関わっていく仕事であることは間違いありません。これから皆さんが患者さんや尊敬できる医師や他の医療職と出逢い、充実した医師生活を送られることを願っています。

③ 各科の専門的な治療を学ぶ

心臓カテーテルを行う消化器外科の先生や、お産をとる血液内科の先生は「基本的には」研修では初期対応を超えた専門的な治療を学ぶのは無意味なの？そんなことはありません。

# 研修医として心がけていること

新潟市民病院 初期臨床研修医 木村 春 奈 (平成29年卒)



卒業生の皆様、この度はご卒業おめでとうございませう。国家試験大変お疲れ様でした。様々な困難を乗り越え、医師になるという夢を叶えた喜びと同時に、これから始まる研修医生活に期待と不安を抱いていることではないでしょうか。

私はおそらく皆様が一番近い立場であろう初期研修医としてこの一年間で大切だと思ったことを僥倖ながら、メッセージとしてお伝えしようと思えます。

近年は電子カルテが普及して、画面上でも患者さんの様子は伺えますが、必ず足を運んで実際に診に行きましょう。わずかな変化でも日頃 face to face で診察していかない気がつかないことや、患者さんとの信頼関係があるからこそ伝えて頂ける症状があるはず。また、どんな小さな処置や処方でも、実際に自分でやることをお勧めします。きっと上級医がやってくれるだろうという意識ではなく、自分でやってみると、その薬や処置に詳しくなり、自然と覚えることが出来ます。

何度も恥をかき、沢山挑戦すると、その分失敗もなさんと病院でともに働けることを楽しみにして、先輩として頼りになる存在となれるよう私も頑張りたいと思います。ともに頑張りましょう！

「この仕事をずっと続けたいか」という専門科を決める一番の指標です。私は初期研修で色々な科を回り、救急外来や集中治療科を回るとして魅力的だ。そのため現在は救急科で勉強を続けています。

他にも色々書きたいことはありますが、何よりも皆様の研修生活が充実したものとなるよう心からお祈りしております！

# 編集後記

ご卒業・国家試験合格おめでとうございませう。

新潟県医師会は毎年春の勤務医ニュースに、社会人となる皆様にむけて、先輩たちからのエールを載せています。学生から医師になるまで大きく異なるのは、人の健康に責任が生ずるところです。不安もあると思いますが、頼りになる先輩、各科における研修、医師会、専門の道では大学医局・学会が、全力で皆さんをサポートします。医師の仕事もこれでよいというゴールはなく、常に向上を目指して頑張っていただいたいと思えます。自分の心と体の健康にも気をくばりつつ、ご活躍することを期待しています。(伊藤)